



伊田小学校

『いのちを輝かす〜結〜』  
ー共生・共学・共育ー

校長 前田 浩文

◆はじめに

今年度、学校教育目標を「いのちを輝かす〜結〜」としました。

いのち（人権）を大切にし、あらゆる活動で子どもたちが、結（相互扶助）の精神をもって、なかまと共に全力で取り組む姿（輝き）を理想としています。

19名の子どもたち（完全複式3学級編成）一人ひとりが輝けるように、8名の教職員で取り組みを進めています。

◆校内研究について

私たちは、研究主題を《つかむ・ねる・うむ》「主体的な学びの創造」〜複式授業をしくむ〜と設定しました。

子どもたちが、学習の課題をしっかりつかみ、一人学びやとも学びの中で考えをねり、それを表現（うみだす）して

いくことをテーマに、主体的に取り組む児童の育成を目指す授業の研究を推進しています。

◆学力向上の取り組み

時間のロスがなく、効果的に複式授業をしくむために学習規律を徹底し、学び方のパターンを身につけさせていきます。ペア学習やトリオ学習なども盛り込んで、主体的に協同的に授業を仕立てていきます。

また、ICT（インフォメーション・コミュニケーション・テクノロジー）を導入し、映像や画像、教材をモニターに映し出して子どもたちの視覚に訴え、より効果的に思考力を高めるための一つの指導方法として活用しています。

そして、私たちの力量をより高めるために、講師を招へいしての模範授業、教員同士の公開授業、研究授業を実施し、互いに授業を参観し合うことで授業改善につなげていきます。

また、授業をサポートする日常活動として、帯タイムでの10分間読書タイムや漢字・計算・調べ学習など自分の好きな勉強をする時間（毎週火

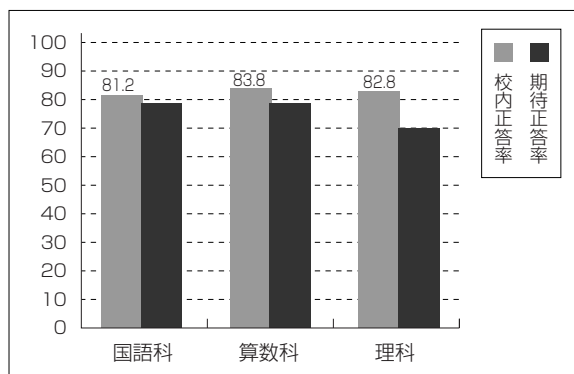
曜日の学習朝会）などを設けています。

家庭学習については、「家庭学習のしおり」の中に低・中・高学年に見合った学習時間と内容を明記して活用しています。

学力向上と不可避の関係にあるのが、基本的な生活習慣の定着です。そこで、子どもたちが自ら課題意識をもって取り組めるように、スマイルカード（生活がんばりカード）を毎日実施し、その結果を1週間ごとに集約し、評価するようにしています。保護者には「早寝」の奨励に協力をいただいています。



左図は、今年度の標準学力調査結果をグラフ化したものです。



国語科・算数科・理科ともに期待正答率を上回る事ができましたが、更なる高みをめざして、総合的な取り組みを推進していきたいと思えます。

◆豊かな心の育成

人に対する優しさや、不合理を見抜き、正す力は、家庭や地域、学校生活全般を通して培われるものです。

とりわけ学校では、さまざまな教科学習・道徳・人権・体験学習などを通して、規範意識や人権課題に気付かせ、

行動化に結びつけていきます。その取り組みの柱立てになるのが、「家族参観日」「道徳教育参観日」「人権教育参観日」「いきいき子育て集会」「キャリア教育参観日」です。講師を招へいし、生き方や将来の夢、そして人権課題について深く学んでいます。

◆体力向上の取り組み

粘り強く丈夫な体づくりのために、体育授業の工夫はもちろんのことですが、毎日の積み重ねが大きな力になりますので、始業前の朝のマラソンと草引き、体育朝会でのサーキット運動などを続けています。朝走ることは、心身の目覚めにも効果的で、授業にもスムーズに入ることができます。

このように知・徳・体のバランスのとれた育ちをサポートするために、私たちは、常に、子どもたちへの指導の「意味づけ、価値づけ、意識づけ」ということを念頭に置いて取り組みを進めていくよう心がけています。



# 佐賀中学校

『人間を大事に』

『凡事徹底をめざして』

校長 島田 義富

## はじめに

本校では、長年教育目標を『人間を大事に』とし、人権・『同和』教育を根底に据え、いじめや差別を許さない人としての生き方を大事にした日々の生活や授業、部活動、学校行事に、全校挙げて取り組んでいます。

さらに、当たり前のことが当たり前にでき、そのレベルを上げていこうと、生徒会と協働した取り組みを行っています。

また、本年度は、『「自ら学ぶ力」を育てる指導方法の研究』を校内研究テーマとして、『基礎学力の定着と充実』及び「仲間づくり」を推進するために、校内研修を充実させるよう取り組んでいます。

## ◆基礎学力の定着と充実

### 【授業改善】

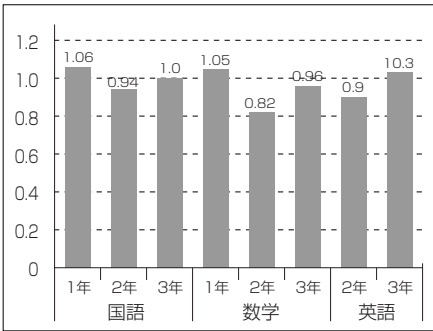
下のグラフが学力の状況で、どの教科も十分な学力が身につけているとはいえず、まだ

まだ多くの課題があります。

基礎学力の定着を図り学力を向上させるためには、日々の授業を充実させることが基本となります。そこで、昨年度より取り組んでいる「授業づくりのスタンダード」の中に、チェックテスト(CTⅡ)授業始めの5分間テスト)を導入しました。このCTは、単元や期末の各テストにも反映されるもので、日々のCTで8割をクリア(8割未満は補充学習)していくことで各テストの高得点につなげ、成長の実感を味わわせ、学習意欲を高めることを目標としています。

さらに、生徒同士の関わり合いや、読む・書く・考える活動を多く取り入れることも重点的に取り組んでいます。

本校の標準学力調査結果(全国を1とする)



## 【家庭学習】

今年度は、基礎タイムの時間をなくし、チャレンジ学習(英・数)に集約しました。さらに家庭学習の内容をCTと連動させることで、内容の充実と成果につなげるようにしました。1学期末のアンケートでは、ほぼ全員の生徒が有用感を感じ、意欲的に取り組めたと答えています。CTへの取り組みがさらに進めば、家庭学習の質と量の向上が図られ、基礎学力の定着と学力の向上につながると確信しています。

## ◆仲間づくり

### 【学校行事を通して】

#### 【佐中祭】

佐中祭は、本校の最も大きな学校行事であり、仲間づくりの柱となる大切な行事でもあります。11月目を迎えた今年度は大幅な見直しを行いました。まず、開催時期を2学期にし、時間も午後日程にしました。生徒の店舗についても3年生をリーダーとする縦割り班にし、生徒の主体性



新校舎で初の佐中祭

を重要視する形にしました。生徒全員が心をこめて準備と練習を重ね開催する佐中祭は、地域に愛され親しまれる行事として定着しています。

## 【運動会】

雨で1時間開始が遅くなりましたが、予定通り行われた運動会は、猛暑や台風の影響で十分な練習ができなかったにもかかわらず、まとまりのある素晴らしいものになりました。毎年恒例の「長縄とび」「足いっぱい」の夢」などの学級対抗競技では、各学級が見事な団結力を見せてくれました。カッオの一本釣りの組体操やよさこいソーランなど



迫力あるよさこいソーラン

## 【人権集会】

今年度から佐中祭と時期を入れ替えて1学期の開催にしました。当日は人権作文・子ども会・クラスの各発表、全校合唱、講演会、さらに作品展と盛りだくさんの内容で、今年もたくさんの方々とともにみんなが人権について考

えることのできた、すばらしい人権集会になりました。



心に響いた人権集会

## 【その他の学校行事】

その他にも、1年生の宿泊研修、2年生の沖縄への修学旅行、3年生の職場体験学習など、目的意識を持った生徒主体の学校行事になるよう心がけて取り組んでいます。

## ◆新校舎落成

今年7月、待望の新校舎が完成しました。8月中に引越しを終え、2学期から新校舎での授業が始まり、快適な環境のもとでの学校生活を過ごすことができている。この学び舎で佐中の長い歴史と伝統をしっかりと受け継ぎ、これまで以上の輝かしい佐中の歴史を創り上げていけるよう、生徒・保護者・地域・教職員が一丸となって教育活動に取り組んでいきます。



完成した佐賀中学校新校舎